

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ナカ金属工業(株)あゆみ野工場新築	階数	地上2F
建設地	大阪府和泉市あゆみ野2丁目	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	130 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年5月 予定	評価の実施日	2021年3月26日
敷地面積	16,270 m ²	作成者	田中
建築面積	5,947 m ²	確認日	2021年3月26日
延床面積	11,760 m ²	確認者	田中

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆☆☆ 100%超:☆☆☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項

総合	その他
一般的な事務所・工場としての標準的な配慮を行っている。	一般的な事務所・工場としての標準的な配慮を行っている。
Q1 室内環境 一般的な事務所・工場としての標準的な配慮を行っている。	Q2 サービス性能 一般的な事務所・工場としての標準的な配慮を行っている。
Q3 室外環境(敷地内) まちなみや景観についての条例にそくしている。	
LR1 エネルギー 一般的な事務所・工場としての標準的な配慮を行っている。	LR2 資源・マテリアル 一般的な事務所・工場としての標準的な配慮を行っている。
	LR3 敷地外環境 一般的な事務所・工場としての標準的な配慮を行っている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0157

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	ナカオ金属工業株式会社 あゆみ野工場新築工事					
		建設地	大阪府和泉市あゆみ野2丁目					
		用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】		CASBEE 総合評価	★ ★ ☆ ☆ ☆			B-		
①	CO2削減		★ ★ ★ ★ ☆			4		
②	みどり・ヒート アイランド対策		★ ★ ☆ ☆ ☆			2		
③	建物の断熱性		★ ★ ★ ★ ★			5		
④	エネルギー削減		★ ★ ★ ★ ★			5		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.9	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.6	5	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
先進的技術の導入			技術の名称			考慮事項		
特に配慮した事項			特になし					